

Ⅱ 事業

1 子どもと子どもの読書活動を支援する人へのサービス

子どもたちが読書の楽しさや喜びを知り、読書する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書展示のほか、小・中学校や学校図書館との連携、子どもの読書活動を支援する大人へのサービス等を継続して行っています。25年度からは、3・4か月の乳児を対象としたブックスタート事業に続く事業として、小学校1年生を対象としたセカンドブック事業を開始しました。

<おはなし会>

子ども向けのおはなし会事業は、開館当初から実施しており、子どもと本の出会いをつくる機会として今日まで継続しています。市内のおはなしグループの協力を得ながら、平成9年10月には乳幼児の親子を対象としたおはなし会も開始し、また、12年度には対象年齢を分けて回数を増やしました。近年では、乳幼児の親子参加が増えていることに鑑み、23年度からは、乳幼児から就学前の子どもたちに対するおはなし会を拡充し、土曜日の開催を試行するなど、平日に来館しづらい父親や共働きの両親と一緒に参加できる機会をつくっています。

		子どもおはなし会	親子で楽しむおはなし会		土曜日おはなし会
開催日		毎週水曜日	第2・4木曜日		不定期
対象		4歳から小学生	0・1歳児と保護者	2・3歳児と保護者	乳幼児と保護者
実施回数		49回	23回	23回	5回(※)
参加人数	子ども	422人	325人	265人	40人
	保護者	209人	316人	216人	29人
	1回平均	9人(子ども)	14組	10組	8人(子ども)

※ただし、特別おはなし会は除く(イベント・講座に記載)



<イベント・講座>

こどもの読書週間や夏休み等に合わせてイベントを実施し、図書館や本に親しむ機会をつくっています。

事業名	日程	内容	参加人数
子ども図書館員	7月31日 8月1日	子ども一日図書館員 貸出・返却業務や図書装備を体験	19人
科学あそび	8月2日	「風船のふしぎ」(全2回) 講師:塚原 博氏(科学読物研究会会員)	38人
特別おはなし会	1月25日	「おはなしお婆さんの玉手箱」 語り:藤田 浩子氏(語り手、幼児教育者)	77人
児童行事 実技講座	1月25日	「絵本は育児書 私が役立てた本・役立った本」 講師:藤田 浩子氏(語り手、幼児教育者)	29人
	3月12日・19日	「心と心をつなぐ布の絵本」 講師:渡辺 順子氏(東京布の絵本連絡会代表)	延べ30人

子ども読書の日(4月23日)

毎年、この日に合わせて推薦児童図書リストを発行し対象図書の展示をしています。また、毎年4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」としてさまざまな企画事業も実施しています。25年度は小学生を対象に簡易製本教室「オリジナル読書ノートをつくろう」を開催しました。

子ども図書館員(夏季)

小学校4～6年生を対象に、図書館の仕事体験するイベントを実施しています。



科学あそび(夏季)

夏休み中の小学生を対象として、ゲストティーチャーによる簡易な科学実験や科学工作を楽しむ教室を開催しています。テーマに合わせた知識絵本や科学読み物も紹介します。

特別おはなし会

おはなしお婆さんとして全国でおなじみの藤田浩子さんをお招きして、楽しいおはなしの小道具を使ったあそびの会や福島弁で語る昔話を聴く会を開催しています。

児童行事実技講座(秋冬季)

こどもの読書活動を支援する大人のための講座を実施しています。

◆科学あそび教室 「風船のふしぎ」

[開催日時] 平成 25 年8月2日(金)

①午前 10 時～正午 ②午後1時 30 分～3時 30 分

[開催場所] 中央公民館 美術工芸室

[参加者] ①小学1・2年生 19 人 ②小学3～6年生 19 人

[講師] 塚原 博さん(科学読物研究会会員、実践女子大学教授)



ゴム風船を膨らませたラップ作りや、風船を使った空気の実験をしました。水ばくだんに鉛筆を刺すとどうなるか、コップの水は風船を吸いつけるかなど、わくわくしながら考えました。

◆特別おはなし会 「おはなしお婆さんの玉手箱」

[開催日時] 平成 26 年1月 25 日(土) 午前 11 時～正午

[開催場所] 中央公民館 視聴覚室

[参加者] 幼児と保護者 77 人

[講師] 藤田 浩子さん(語り手、幼児教育者)



おはなしお婆さんの藤田浩子さんをゲストに迎え、年に一度の特別おはなし会。参加者みんなでおはなしを聞き、わらべうたやあそび歌を楽しみました。

◆児童行事实技講座 「絵本は育児書 私が役立てた本・役立った本」

〔開催日時〕 平成 26 年1月 25 日(土) 午後2時～4時

〔開催場所〕 中央公民館 視聴覚室

〔参加者〕 絵本や子どもの読書活動に関心のある人 29 人

〔講師〕 藤田 浩子さん(語り手、幼児教育者)



幼児教育者としての長年の実践に基づいた「人と人のかかわりを育てる」ための子育て応援メッセージを語っていただきました。講師自身が役立てた絵本を中心に、その作品にまつわる興味深いエピソードを聞いたことで、どの作品も改めて読み返してみたくくなりました。

◆児童行事实技講座 「心と心を結ぶ布の絵本」

〔開催日時〕 平成 26 年3月 12 日(水)・19 日(水) 午後1時 30 分～4時 30 分

〔開催場所〕 中央公民館 講座室

〔参加者〕 布の絵本に関心のある人 延べ 30 人

〔講師〕 渡辺 順子さん(東京布の絵本連絡会代表)



中央図書館で布の絵本を製作するきっかけとなった同講師による講座から 10 年を経て、再度、布の絵本を取り巻く状況と製作活動に関わることの意義を

お話いただきました。また、実習として講師考案の布の絵本『おやすみおはよう』をグループ製作し、完成した作品は図書館所蔵資料としました。丁寧かつ厳しい実技指導では、現在製作ボランティアとして活動しているメンバーにとっても、良いスキルアップの機会となりました。

＜ブックスタート事業＞

ブックスタートとは、赤ちゃんとその保護者が、絵本を介してゆっくり向き合い、心触れあうひとときを持つためのきっかけづくりをすることです。

図書館では、司書とブックスタート説明員が3・4か月児健康診査会場でブックスタート事業を実施しています。実際にその場で説明員が赤ちゃんに対面式で読みきかせを行い、絵本1冊と「絵本リスト」などを、贈呈しています。

ブックスタート配布絵本タイトル

ブックスタート配布絵本タイトル	冊数
『いないいないばあ』(童心社)	232 冊
『じゃあじゃあびりびり』(借成社)	202 冊
『くっついた』(こぐま社)	172 冊
『くだもの』(福音館書店)	23 冊
『ここよここよ』(福音館書店)	10 冊



ブックスタートパック

ブックスタート配布絵本の推移

21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
547 冊	604 冊	577 冊	607 冊	639 冊

＜セカンドブック事業＞

25 年度から、小学校へ入学する児童に本を一冊贈る「セカンドブック事業」を実施しています。この事業は、子ども自身が「本を選ぶ楽しさ」「読む楽しさ」を知るきっかけをつくることで、自発的な読書につながることを目的としています。

セカンドブック配布絵本タイトル	冊数
『ちからたろう』(ポプラ社)	11 冊
『こねこのぴっち』(岩波書店)	45 冊
『ひとまねこざる』(岩波書店)	59 冊
『ろくべえまってるよ』(文研出版)	32 冊
『すいかのたね』(福音館書店)	11 冊
『わにのはいた』(大日本図書)	29 冊
『なぞなぞのすきな女の子』(学研)	32 冊
『1ねん1くみ1ばんワル』(ポプラ社)	95 冊
『番ねずみのヤカちゃん』(福音館書店)	76 冊
『ふたりはともだち』(文化出版局)	93 冊
『ダンゴムシみつけたよ』(ポプラ社)	33 冊
『ぼく、あぶらぜみ』(福音館書店)	31 冊

司書がおすすめる 12 冊の本の中から一冊を親子一緒に選んでもらい、その一冊を贈呈しています。

25 年度は 547 人の児童に配布いたしました。



<図書展示>

季節の行事や子どもたちの身近な事柄をテーマに、関連する絵本や図書を集めたり、それにちなんだ装飾を行ったりして、いろいろな本との出会いのきっかけをつくる企画展示をしています。

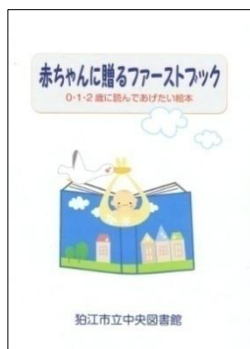
期間	テーマ	設置場所
3月25日～4月22日	コールドコット賞の絵本	児童コーナー展示架
4月11日～5月17日	セカンドブックの本	児童コーナー展示架
4月23日～6月2日	このほんしってる？2013 図書館がすすめる本	児童コーナー展示架
5月2日～5月15日	日本一の山 富士山	児童コーナーミニ展示
5月16日～6月2日	開業1周年・東京スカイツリー	児童コーナーミニ展示
6月15日～7月1日	雨を楽しむ本 カエルといっしょに！	児童コーナー展示架
6月15日～7月1日	歯、むし歯の本	児童コーナーミニ展示
7月3日～7月8日	たなばたの絵本	児童コーナーミニ展示
7月3日～7月26日	伝記絵本 ほんとうにあったお話	児童コーナー展示架
7月17日～9月2日	夏休み課題用参考図書	児童コーナー特設
7月27日～9月2日	戦争と平和を考える子どもの本	児童コーナー展示架
9月4日～9月26日	じいじ、ばあばの絵本 敬老の日	児童コーナー展示架
9月4日～9月15日	宮沢賢治の本	児童コーナーミニ展示
9月27日～11月4日	ぐりとぐら50周年	児童コーナー展示架
11月6日～11月18日	どんぐりころころ おちばひらひら	児童コーナー展示架
11月20日～12月25日	クリスマスの絵本	児童コーナー展示架
1月5日～1月20日	お正月によみたい絵本 干支・馬	児童コーナー展示架
2月5日～2月17日	チョコレートと恋のお話	児童コーナー展示架
2月19日～3月3日	雪のおはなし	児童コーナー展示架
2月27日～3月3日	ひなまつりの絵本	児童コーナーミニ展示
3月5日～4月21日	ピッカピカの一年生 春の絵本	児童コーナー展示架
3月8日～3月31日	東日本大震災のメッセージ	児童コーナーミニ展示



＜推薦児童図書リストの発行＞

図書館がすすめる本を手にとってもらえるように、紹介冊子やリーフレットを作成し、対象資料の特集コーナーを設置しています。また、発行物は市内図書室や学校図書館等へも配布しています。25年度は市内の中学校図書館と連携して、中学生にすすめる本を紹介する「ようこそ本の世界へ」を作成しました。

タイトル	発行日	内容
このほんしってる？2013 (幼児／1・2年／3・4年／5・6年)	年1回 4月23日発行	前年に刊行された児童図書や絵本の中から選定して紹介。
Books for you 2013 (中学生以上)	年1回 4月23日発行	前年に刊行された児童図書の中から選定して紹介。
読書のみちしるべ (小学生にすすめる本)	平成24年 7月発行	読み継がれた基本図書を中心に学年別に選定して紹介。
図書館で会える絵本 (3～6歳に読んでほしい絵本)	平成22年 3月発行	読み継がれた優良絵本を中心に選定して紹介。
赤ちゃんに贈るファーストブック (0・1・2歳児に読んであげたい絵本)	平成22年 1月発行	3・4か月健診で実施のブックスタート時に配布。



＜絵本の貸出ベストリーダー10＞

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

順位	タイトル	作者	出版社
1	からすのパンやさん	かこ さとし／作・絵	偕成社
2	はらぺこあおむし	エリック＝カール／さく	偕成社
3	からすのおかしやさん	かこ さとし／作・絵	偕成社
4	ぐりとぐらの1ねんかん	なかがわ りえこ／作	福音館書店
5	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか／作・絵	文渓堂
6	おばけのバーバパパ	アネット＝チゾン／さく	偕成社
7	からすのやおやさん	かこ さとし／作・絵	偕成社
8	おべんとう	小西 英子／さく	福音館書店
9	としよかんライオン	ミシェル・ヌードセン／さく	岩崎書店
10	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか／作・絵	文渓堂

<学校図書館への協力貸出>

市内小・中学校の各学校図書館を窓口として協力貸出を行っています。週1回 FAX 受付による貸出依頼のほか、インターネット予約や来館取り置き分を含めた資料の配送も行います。配送は週2回月曜と木曜に学校専用便を運行し、学校間同士の相互貸借にも利用できます。25年度は80回実施しました。

小学校名	狛江第一小	狛江第三小	狛江第五小	狛江第六小	和泉小	緑野小	小学校計
貸出冊数(冊)	828	1,484	959	1,602	746	1,054	6,673
(内学級文庫)	(220)	(60)	(210)	(0)	(180)	(0)	(670)

中学校名	狛江第一中	狛江第二中	狛江第三中	狛江第四中	中学校計	全校計
貸出冊数(冊)	186	1,004	454	277	1,921	8,594

<職場訪問・職場体験>

中学生・高校生が学校を離れて地域の商店や民間企業、公的事業所等の職場で、実際に仕事を体験する事業を受け入れています。この活動は、「働くことの意義や仕事の大切さを感じ取り、将来の進路を選択する態度を身につけたり、人を思いやる気持ちや責任感を育てたりすること」をねらいとしており、図書館ではこの目的が達成できるように支援しています。また同時に、生涯を通じての読書習慣や図書館利用の促進につながるよう様々な内容でプログラムを組んでいます。

学校名	学年	人数	実施日	日数	内容
狛江第一中学校	1年生	5人	1月17日	1日	施設案内、インタビュー
	2・3年生	4人	11月26日～28日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第二中学校	1年生	4人	2月12日～14日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第三中学校	2年生	4人	6月19日～21日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第四中学校	2年生	4人	7月10日～12日	3日	窓口業務、図書装備等
世田谷区立砧中学校	1年生	1人	2月7日	1日	施設案内、インタビュー

【おはなし会の実習中】



【書棚から本を見つけられるかな】



2 成人へのサービス

<文学講演会>

ロングベストセラーの著書『こどもへのまなざし』で知られ、子どもの育つみちすじについて30年以上にわたり、各地で講演されている佐々木正美氏をお招きしました。

開催日	タイトル	参加人数
10月27日	佐々木正美講演会 ～エリクソンに学ぶ感謝ができる幸福な生き方～ 講師：佐々木正美氏(児童精神科医・川崎医療福祉大学特認教授)	148人

人間が健康で幸福に生きていくためのモデルを、エリクソンを中心に他の研究者の理論と合わせ、ご自身の体験も含め語っていただきました。

参加者は20代から80代と幅広く、真剣な面持ちや活発な質疑応答から、テーマへの関心の高さが伺えました。



<文学散歩>

「国民文学作家吉川英治の世界にふれて」

- | | |
|--------|----------------------------|
| 1 開催日時 | 平成 26 年 3 月 12 日（水） |
| 2 訪問地 | 吉川英治記念館（住所：青梅市柚木町 1-101-1） |
| 3 参加者 | 29 人（市内在住者） |
| 4 参加費 | 400 円（入館料） |

25 年度の文学散歩は、24 年度の文学散歩アンケートで希望のあった「吉川英治記念館」を梅の季節である3月に訪問しました。団体申し込みでないと入れない母屋で、学芸員の方に吉川英治氏にまつわるエピソードや作品に関する事柄を色々聞かせていただきました。文献には書かれていない話に、「氏に対する興味がますます深まった」との感想が寄せられました。その後自由見学とし、参加者は同施設内の資料館の特集展示や氏に関するビデオをみたり、広々とした庭などを散策したり、各々ゆっくりとした時間を過ごしていました。



以前に比べ男性の参加者も増えています。また、今回の文学散歩に先駆け中央図書館で行った「吉川英治関連本」展示には、文学散歩に参加出来ない利用者も興味を持って利用している様子が伺えました。

<図書展示>

期間	テーマ	設置場所
4月25日～5月31日	春・ガーデニング	一般展示コーナー
5月2日～6月2日	憲法ってなあに？～5月3日 憲法記念日に寄せて ※狛江市複製冊子『あたらしい憲法のはなし』同時配布	一般展示コーナー
6月15日～7月13日	紅一点じゃ、足りない(男女共同参画)	一般展示コーナー
7月14日～8月5日	涼を楽しむ	一般展示コーナー
8月7日～8月31日	平和を求めて2013 ～この1年間の受入図書 平和を求めて ～戦争を忘れないで語りつごう	一般展示コーナー
8月25日	こまえ平和フェスタ2013～戦争を忘れないで語りつごう	エコルマホール ロビー
8月28日～9月30日	Go! Go! 国体!!	一般展示コーナー
9月18日～10月24日	「佐々木正美講演会」関連展示	一般展示コーナー
10月2日～11月17日	追悼 山崎豊子	一般展示コーナー
11月23日～12月7日	利用支援サービス展示 「本が読めない障がい『ディスレクシア』ってなあに？」	一般展示コーナー
12月19日～1月14日	年末・年始にしたいこと!	一般展示コーナー
1月15日～2月13日	文学講演会関連展示 「国民文学作家・吉川英治の世界の世界にふれて」	一般展示コーナー
3月3日～3月31日	防災・減災・避難の本 平成25年に出版された東日本大震災関連図書	一般展示コーナー

<発行物>

発行日	タイトル
5月10日	「こまえ図書館だより 第56号」
9月27日	「こまえ図書館だより 第57号」
1月31日	「こまえ図書館だより 第58号」
3月1日	「こまえ図書館だより 臨時号 開館時間・休館日変更」

3 利用支援サービス

中央図書館では、図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービスを行っています。視覚障がい者への録音資料や対面朗読の提供など従来のサービスのほかに、24年度に発足した「狛江絵本点訳の会コスモス」が点訳絵本の製作を始めました。また、市民向け講演会では、「ディスレクシア」という読書困難な障害について紹介しました。高齢者向けのサービスとして、高齢者施設への大活字本の配達の試行については、25年度も継続して行いました。その他にも、利用支援サービスを支える協力員やボランティアの方々向けの研修・講習会を実施しました。

<点訳絵本の製作>

「狛江絵本点訳の会コスモス」は月2回程度集まり、点訳絵本を製作しています。通常の絵本に透明の点字ラベルを貼付することで、目の不自由な方がストーリーを楽しめるような絵本になります。選書は児童サービス担当者と利用支援サービス担当者で行い、25年度は『おおきなかぶ』と『わたし』の2作品を製作しました。



[透明の点字ラベルが貼ってある表紙]

<音訳者のスキルアップ講習会>

25年度は、活動している音訳者のスキルアップを目的とした講習会を2種類実施しました。

《音訳校正講習会》

[開催日時] 平成25年11月8日(金) 午前10時～正午

[開催場所] 中央公民館 第1会議室

[参加者] 10名(登録音訳者の中で校正業務を行っている人、行う予定の人)

[講師] 磯部 誠子さん(元・ニッポン放送アナウンサー)

都立図書館をはじめ全国の図書館で音訳者・校正者の指導にあたり、大田区で現在も数多くの録音資料を製作している方を講師としてお招きし、さまざまな校正事例や修正指示例を交えた講習を行いました。『細かい修正にこだわりすぎること「視覚障がい者が聞きやすい録音資料を作る」という、音訳者の基本を忘れないように』と、改めて教えていただきました。図書館として製作依頼する際、音訳者と校正者の技術レベルなどを考慮したコーディネーターが重要だというお話もありました。

《レベルアップ講習会「表紙の読み方・処理を学ぶ」》

[開催日時] 平成 26 年 2 月 25 日(火)・27 日(木) 午前 10 時～正午

[開催場所] 中央公民館 2 階 講座室

[参加者] 25 日 13 名・27 日 12 名

[講師] 高橋 久美子さん(都立図書館音訳者)

23 年度に発表された「録音(DAISY)資料製作に関する全国基準」に沿って製作するためには、今までは省略されていた本や雑誌の表紙を説明するという作業が必要になりました。

表紙に書かれたイラストや写真、文字などを説明するために必要なポイントを、実践を交えて講義・講評していただきました。近年、後天的に視力を失う人が増加し、色や漢字を認識できない視覚障がい者も多いため、それらの説明も求めている利用者を意識した録音資料製作を今後行っていきます。

[高橋先生の講評を受ける受講生]



＜市民向け講演会＞

学習障害のひとつ「ディスレクシア」は、文字や図などを読み取り理解することが困難な障害です。約 40 人に 1 人は存在していると言われてはいますが、まだ社会的な認知は低いのが現状です。この講演会ではディスレクシアについての理解を深めるため、この障害を持っている人にも読みやすいデジタル資料「マルチメディア DAISY(デージー)」を製作している調布市の団体の代表である牧野綾さんにご講演いただきました。

《本が読めない障がい「ディスレクシア」ってなあに?》

[開催日時] 平成 25 年 12 月 7 日(土) 午後 1 時半～4 時

[開催場所] 中央公民館 第 4 会議室

[参加者] 20 名

[講師] 牧野 綾さん(調布デージー代表)



[ディスレクシアをテーマにした絵本の紹介]

自分の子どもがディスレクシアだとわかった時の気持ち、自分と同じく本を好きな子どもになってほしいと研究する中で出会ったマルチメディア DAISY。それを作る団体を設立するまでの話を NHK の取材を受けた時の映像を交えて、明るくパワフルに語っていただきました。質疑応答で同じ障がいを持った保護者からの質問や相談、教育現場の方からの声が寄せられました。

＜高齢者施設へのサービス＞

図書館に来館し、自由に読書を楽しむことができない方へのサービスとして24年度より試行している高齢者施設への大活字本の配達は、24年度実施した施設に加え、25年度は特別養護老人ホームへの配達も実施しました。

配達した大活字本は、入所されている方が自由に選べる場所に設置していただきました。実施後のアンケートによると、大活字本の貸出は冊数および期間に問題はなく、各自部屋に持ち帰り楽しんでいるとのことでした。

〔配達時に開催したおはなし会の風景〕



〔漢字を読みながら、数え歌を楽しむ〕



〔次の演目は何かな？と待っている皆さん〕

〔試行開催実績〕

開催日	施設名	大活字本	おはなし会	職員配置
8/21	グランダ狛江参番館	配送:Aセット	なし	職員:2人
9/11	グランダ狛江	配送:Bセット	なし	職員:2人
11/13	グランダ狛江	配送:Cセット 回収:Bセット	午後2時半～3時10分 参加者16人	職員:4人 ボランティア:3人
12/11	グランダ狛江参番館	配送:Bセット 回収:Aセット	午後2時～2時40分 参加者28人	職員:3人 ボランティア4人
1/8	グランダ狛江	配送:Aセット 回収:Cセット	午後2時10分～2時45分 参加者14人	職員:3人 ボランティア:2人
2/26	グランダ狛江	回収:Aセット	なし	職員:2人
	グランダ狛江参番館	回収:Bセット	なし	職員:2人
3/14	こまえ苑	配送:Dセット	なし	職員:2人

※A～Cセットは各80冊、Dセットは50冊

<利用支援サービス事業実績>

25年度は登録利用者の転居等により、24年度に比べ登録利用者数、宅配回数が減少しています。その一方で対面朗読では、定期利用者が増加しました。

◎ 登録利用者数

(単位:人)

	視覚	聴覚	肢体	内部	精神	怪我	高齢	その他	合計
25年度	16	0	2	3	0	0	0	0	21
24年度	22	1	2	3	0	0	0	0	28

◎ 登録協力員数

(単位:人)

	音訳者	音訳校正者	DAISY 編集者	DAISY 校正者	対面朗読
25年度	23	14	19	14	20
24年度	27	9	27	27	27

◎ 対面朗読

	延べ回数	時間数	音訳者の延べ人数
25年度	82回	163時間	164人
24年度	53回	106時間	106人

◎ 宅配サービス

(単位:回)

	図書資料		録音資料		点字資料		その他		配達回数
	回数	タイトル	回数	タイトル	回数	タイトル	回数	事由	
25年度	52	126	3	11	0	0	0	—	55
24年度	60	155	0	0	0	0	0	—	60

◎ 録音資料・点訳資料

他の公共図書館や点字図書館との相互貸借の数は、減少傾向にあります。その要因として、利用者自身が日本点字図書館のホームページなどから検索しダウンロードできるようになったことが挙げられます。中央図書館では、このサービスを利用できない登録利用者に対して、今後も当館を通じ相互貸借を行っていきます。

録音資料製作は個人提供分が多い1年でした。26年度は多くの方に利用していただける所蔵録音資料の製作を増やす予定です。

① 蔵書数

(単位:タイトル数)

		作成		購入		合計
			うち 25 年度		うち 25 年度	
録音資料	カセットテープ	235	0	0	0	235
	DAISY	212	5	1	0	213
点字資料		2	2	39	5	41

② 25 年度作成件数

(単位:タイトル数)

		図書館所蔵分	個人提供分	合計
録音資料	カセットテープ	0	0	0
	DAISY	5	8	13
点字資料		2	0	2

③ 貸出件数(相互借受含む)

(単位:タイトル数)

カセットテープ	DAISY	点字資料	合計
1	11	0	12

※貸出件数は個人貸出、団体貸出の合計

④ 相互貸借件数

(単位:タイトル数)

	カセットテープ	DAISY	点字資料	合計
相互貸出	1	11	0	12
相互借受	12	4	3	19

4 図書館活動を支える人たち

今日の図書館において、より細やかな図書館サービスを目指しそれを実践する上で、市民ボランティアの存在は必要不可欠です。図書館利用者の一人でもあるボランティアの方々が、日頃の活動を通じて、図書館をより理解していただけるような取り組みになることを願っています。

<市民グループの活動>

中央図書館では、おはなし会事業や音訳・対面朗読など、それぞれの分野で活動する市民グループの方々と長きにわたって協働してきました。定期連絡会や講座・研修会などを通じて、各グループと図書館職員が交流しながら、図書館利用者へのサービス向上に努めています。平成 24 年 11 月に発足した絵本点訳グループが 25 年度から製作活動を始めました。

活動区分	活動グループ	活動開始時期	活動者数
音訳・対面朗読	狛江朗読ボランティアグループ	昭和 52 年	14 人
	音訳いれぶん	平成 23 年	10 人
おはなし会	狛江おはなしの会くーすけ	平成 10 年	14 人
資料製作	布の絵本製作ボランティアはなみずき	平成 16 年 3 月	6 人
	狛江絵本点訳の会コスモス	平成 25 年 4 月	11 人

<図書館ボランティアの養成>

平成 22 年 10 月、図書館活動への参加に意欲のある市民を対象に、図書館ボランティア養成講座を実施して個人のボランティア登録制度を開始しました。25 年度は新たに講座を修了した9人の方が活動に参加しています。

活動区分	主な内容	活動実績	活動者数
図書修理	資料の補修や破損修理など	126 日、1,771 冊を修理 (1 回 3 時間程度)	10 人
館内整理	読書調査室の整理整頓を中心に 新聞整理、リサイクルラベルの貼付など	216 日 (1 人当たり週 1 回 1 時間程度)	14 人



【リサイクル図書の配布準備】

◆図書館ボランティア養成講座

〔開催日時〕平成25年10月5日(土)・12日(土) 午前9時45分～正午

〔開催場所〕中央公民館 講座室

〔参加者〕図書館ボランティアに関心のある人 18人

〔講師〕小畑 信夫さん(図書館・メディア研究所代表)

図書館でボランティア活動をすることの意義やその役割について、具体的な事例を交えて初心者にもわかりやすくお話いただきました。2回の講座修了後、希望する人にボランティア登録してもらいました。



〈高齢者施設訪問サービス協力員の研修〉

利用支援サービスの新しい事業として、24年度から高齢者施設への大活字本の配達を試行しています。また、配達時にはおはなし会を実施しました。そこで25年度は、高齢者施設で勤務された経験を生かして高齢者向けの紙芝居を監修されている方を講師にお招きし、読み方や演じ方をはじめプログラム構成などを学ぶための講座を開催しました。

◆高齢者施設訪問サービス協力員研修 「高齢者のための紙芝居講座」

〔開催日時〕10月29日(火)・11月12日(火) 午後1時30分～4時30分

〔開催場所〕中央公民館 講座室

〔参加者〕登録音訳者 延べ19人

〔講師〕遠山 昭雄さん(高齢者向け紙芝居の監修者)



作品を作る側として重視しているポイントの解説を聞きながら、様々な紙芝居を実演していただきました。長い人生経験を重ねてきた高齢者の方々へ尊敬の念を持って接すること、時代背景なども考慮したプログラム構成をすることが大切ということ学びました。

5 リサイクル事業

中央図書館で除籍手続きを経て不用となった資料を市民等に無料配布しています。

実施日 平成 25 年 11 月 16 日（土）～17 日（日）

場 所 中央公民館地下ホール

	11 月 16 日	11 月 17 日	合計
来場数	588 人	309 人	897 人

	提供冊数	配布冊数	配布率
一般書	9,065 冊	4,623 冊	51.0%
児童書	3,201 冊	2,423 冊	75.7%
雑誌	532 冊	438 冊	82.3%
合計	12,798 冊	7,484 冊	58.5%

※ほか、小中学校・保育園等への配布(児童書) 851 冊

雑誌については、市民センター入りリサイクルコーナー(新規設置)にて、随時配布を行ないました。リサイクル事業実施日までに提供した雑誌 592 冊は、全て配布しました。

また、リサイクル事業で配布しきれなかった図書及び雑誌の一部(3,300 冊)とリサイクル事業後、年度末までに除籍した 569 冊をリサイクルコーナーで配布したところ、こちらも全て配布できました。

各地域センター図書室の取り組み

<野川地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	備考
4月9日～5月17日	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
6月25日～7月7日	七夕かざり 短冊に子どもたちの願いごとを書いて笹につけてもらう	
7月16日～8月31日	夏休み課題図書等展示 夏休み課題図書・自由研究・工作等の展示を行う	
8月20日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
10月6日～10月15日	リサイクル事業 利用者発表会にて廃棄本の無料配布(6日) 図書室前にて廃棄本の無料配布(7日～)	600冊
10月25日	仮装で楽しむおはなし会(協力:テラコヤ3) 親子工作 「おばけふうせん製作」 大型絵本よみきかせ 「おばけのてんぷら」 大型紙芝居よみきかせ 「おおきくおおきくおおきくなあれ」 音遊び手遊び 「おおきなたいこ」「しあわせならてをたたこう」 「げんこつやまのたぬきさん」 大型絵本 歌の朗読 「はらぺこあおむし」	親子 55名
10月31日	リミックでハロウィンを楽しもう(協力:リトルツリーズ) 絵本よみきかせ 「もうすぐハロウィン」「あきをあつめたよ」 パネルシアター 「まつぼっくり どんぐりころころ」 ふれあいあそび 「らららぞうきん」 おひざあそび 「どんぐりころころ」 わらべうた 「とんぼ」	親子 98名

12月2日	<p>おはなし会(協力:テラコヤ3、リトルツリーズ)</p> <p>「あわてんぼうのサンタさんのちょっと早いクリスマス」</p> <p>親子工作</p> <p>「クリスマスカラーのポンポン作り」</p> <p>大型絵本よみきかせ</p> <p>「ぐりとぐらとおきやくさま」</p> <p>「ぴよーん」「まどから☆おくりもの」</p> <p>パネルシアター</p> <p>「メリークリスマス」</p>	親子 121名
11月27日～12月25日	<p>クリスマス展示</p> <p>クリスマスツリー飾り付け</p> <p>関連図書展示</p>	
2月24日	<p>親子料理教室(指導:第4育成委員会)</p> <p>花と動物の飾り巻き寿司</p> <p>関連図書展示</p>	親子 14名
通年	<p>展示</p> <p>「このほんしってる?2013」 (幼児/1・2年/3・4年/5・6年)</p> <p>「Books for you 2013」展示</p> <p>新着図書紹介コーナー</p> <p>絵手紙コーナー</p> <p>その月の行事等に合わせ、関連する絵本を展示</p> <p>「干支今年はへび年」「ねこニャー」「歌音楽♪」</p> <p>「赤ちゃん 誕生バブバブ」</p> <p>「いたずら・おもしろい ゆかい クスクス」</p> <p>「カエル・おたまじゃくしケロケロ」「おばけ ヒュー」</p> <p>「作家特集 荒井良二」</p> <p>「たべもの おいしそう パクパク」</p> <p>「ハロウィン」「犬ワンワン」「クリスマス」</p>	

<上和泉地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	備考
4月11日～5月17日	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
5月3日～6日	子どもの日 竹とんぼのプレゼント	
7月16日～8月31日	夏休み課題図書等展示	
8月17日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
10月・3月	リサイクル事業(無料配布) センターまつりにて廃棄本(一般)(10/13～) 図書室前にて廃棄本(雑誌)(3/1～)	約600冊
12月	クリスマス展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書の展示	
通年	書庫保管本のリストを作者別に掲示 緑野文庫(緑野小学校推薦図書)の展示 「このほんしってる？」展示 新着図書紹介コーナー 毎月テーマを決めて本(児童・一般)を展示	

<岩戸地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	備考
4月11日～5月17日	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
6月18日～6月25日	図書特別整理	
6月25日～7月7日	七夕 短冊に願いを書いて笹につけてもらう	
7月18日～8月31日	夏休み課題図書 関連図書の展示	
8月10日～	リサイクル事業 廃棄本(雑誌)の無料配布 ※25年度12月からの図書室建替えのため	
8月20日	夏休み一日子ども図書室員 児童に図書の体験をしてもらう。	2名
8月17日	夏休み子ども教室(講師:運営協議会事業部) 「手作り写真立てとクレープづくり」 関連図書の展示	12名
10月21日～	リサイクル事業 廃棄本の無料配布 (利用者発表会に合わせて実施)	約1,500冊
通年	本の森 新着図書のコーナー あたらしい子どもの本コーナー 絵手紙コーナー 小学生向け推薦図書の展示「読書の道しるべ」	

平成25年12月1日から平成27年3月31日までセンター建替え工事のため休室しています。

＜南部地域センター図書室＞

実施日	取り組みと内容	備考
4月11日～5月17日	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
6月25日～7月7日	七夕かざり 短冊に子どもたちの願い事を書いて 笹につけてもらう	
7月4日	子ども七夕会(協力:人形劇サークルぶんぶん) 布絵本 「みんなうんち」 パネルシアター 「七夕のはなし」	子ども 56名 大人 20名
7月12日～31日	玄関ホールにて廃棄本の無料配布	1,889冊
8月1日～2月28日	改修工事のため休室	
3月2日～18日	玄関ホールにて廃棄本の無料配布	403冊
4月～6月	おはなし会 尾上民さん(図書職員) 全3回実施	平均10名
4月～6月	親子で楽しむおはなし会 小川美枝子さん(図書職員) 全3回実施	平均23名
通年	本の展示 新着図書コーナー 絵本コーナーにその月の行事等に合せ、 関係する絵本を展示	

施設概要

館・室名	開館年月日	所在地	面積 (㎡)	閲覧席
		電話		
中央図書館	昭和 52 年 11 月 23 日	和泉本町一丁目1番5号 市民センター内1F	1,623.3	一般 40 児童 10
		03-3488-4414		
野川地域 センター図書室	昭和 51 年6月2日	西野川一丁目6番9号 野川地域センター内1F	108.0	6
		03-3480-2211		
上和泉地域 センター図書室	昭和 53 年8月3日	和泉本町四丁目7番 51 号 上和泉地域センター内2F	131.7	10
		03-3489-9101		
岩戸地域 センター図書室	昭和 53 年7月 23 日	岩戸南二丁目2番5号 岩戸地域センター内1F	94.8	0
		03-3488-7040		
南部地域 センター図書室	昭和 58 年4月3日	猪方四丁目11番1号 南部地域センター内1F	119.0	8
		03-3489-2150		
西河原公民館 図書室	平成 18 年8月 11 日	元和泉二丁目 35 番1号 西河原公民館内1F	174.84	一般 45 AV 9
		03-3480-3201		

登録番号 H26-15

平成 25 年度図書館・図書室事業報告書

平成 26 年6月発行

発行・編集 狛江市教育委員会教育部図書館

〒201-8585 狛江市和泉本町1丁目1番5号

電話 03(3488)4414

<http://www.library.komae.tokyo.jp/>

印刷 庁内印刷

頒布価格 無償